

## 8 重点項目評価シートの見方

### 課題

第四次実施計画の4つの課題

課題1:新しい時代を担う子供の育成

課題2:高齢者、障害者など誰もがいきいきと暮らせる地域社会づくり

課題3:安全で快適な文化の薫るまちづくり

課題4:柔軟で多様な開かれた参画システムの構築

### 重点項目

3年間に重点的に取り組む21の重点項目

課題	2	高齢者、障害者など誰もがいきいきと暮らせる地域社会づくり
重点項目	6	元気高齢者の社会参加の促進

### 目的

高齢者が自ら進んで地域社会に参加できる環境を整備するとともに、自立的な就労・就業の機会を確保します。

### 対象・手段

高齢者の地域参加と生きがいづくりにつながる各種活動を支援します。高齢者の就業を促進するため、新宿区社会福祉協議会が実施する無料職業紹介所(新宿わくワーク)に対し、必要経費を助成します。また、高齢者の社会参加の仕組みづくりについて、高齢者社会参加システム協議会で検討します。

### 重点項目の方向

高齢社会を迎え、熟年期をいかに豊かに過ごすかが、ますます重要になってきています。いわゆる団塊の世代が、近い将来定年を迎えますが、その多くは就労継続の意向を持つ一方、より豊かな第二の人生を求めて地域の活動にも目を向けつつあります。区では、高齢者の豊かな経験、知識や技術を就労や社会貢献活動に活かすことができるよう、また同時に、高齢者が出来るだけ長い期間元気でいられるよう、様々なメニューを検討し、支援していきます。

### 成果指標

### 成果指標

成果を計る測定可能な指標

指標名		定義	目標水準			
積極的に外出する高齢者の増加		65歳以上で積極的に外出する人の割合(高齢者実態調査)	(平成19年度)	75.7%	年度の水準達成	
生きがいをもって生活している高齢者の増加		65歳以上で生きがいをもって生活している人の割合(高齢者実態調査)	(平成19年度)	62.5%	年度の水準達成	
無料職業紹介所(新宿わくワーク)による就職者数		求職登録者中の採用決定者の割合	(平成19年度)	30%	年度の水準達成	
重点項目の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
重点項目 成果指標	目標値1	%	75.70		75.70	平成18年度の実績1、2については高齢者実態調査未実施のため、数値未記入。
	実績1	%	55.60		55.60	
	目標達成率1 = /	%	73.45		73.45	
	目標値2	%	62.50		62.50	
	実績2	%	86.30		95.30	
	目標達成率2 = /	%	138.08		152.48	
	目標値3	%	30.00	30.00	30.00	
	実績3	%	42.80	61.00	58.23	
	目標達成率3 = /	%	142.67	203.33	194.10	

所管部	福祉部、健康部、地域文化部
-----	---------------

**主な取り組み**

高齢者の社会参加 いきいき福祉大作戦の実施(高齢者マイスター制度、いきいきパスポートなど)  
 高齢者社会参加システム協議会による新しい社会参加の仕組みの検討  
 高齢者就業支援 新宿区社会福祉協議会設置の無料職業紹介所への助成

主な取り組み  
19年度の実施状況

**課題**

地域で活動する高齢者が今後も増えていくことから、高齢者のいきがいを高めるとともに、地域課題の解決にその力を活かすことが求められていることから、高齢者の社会参加システムの構築が強く求められています。  
 高齢者の就業支援については、相談から就職斡旋までの一貫した支援に加え、就職支援セミナーやガイダンスなど支援の仕組みとして安定的に運営されています。この間、求人開拓を通じて地域の企業とのパイプもつくられ、支援のノウハウが蓄積されていることから、これらのパイプやノウハウ等を幅広い就労支援の中で活用することが求められます。

課題  
目的に対する実施状況上の問題  
成果に対する実施状況

**評価**

**総合評価**

総合評価をBとした理由は、積極的に外出する方の比率について目標を達成することはできませんでしたが、ほかの2つについては目標を上回ることができました。しかしながら、個々の取り組み、事業の中には、実績が低かったり、想定した利用者層に結びつかないものもあったためです。

サービスの負担と担い手  
いきがい活動、社会参加活動、就労は個人が主体的に行うものですが、地域で活動する高齢者が増加傾向にあること、高齢者がいきがいをもち活動することで、高齢者全体の健康維持・介護予防にも資することが適当です。

適切な目標設定  
高齢者の社会参加づくり、いきがいづくりが活発になることで、外出する機会等が増えることから、適切なものです。

効果的・効率的な視点  
事業の推進にあたっては、地域で活動する住民・団体、事業者等との協働・連携を基本としています。

目的の達成度  
高齢者社会参加システム協議会の検討結果等を踏まえ、高齢者の社会参加を支援するしくみの構築に取り組み、「生涯現役塾」を初めとする事業を開始することができました。またこれまでの就労支援策を踏まえ、障害者、高齢者、若年非就業者などに対する総合的な就労支援策について取り組むこととなりました。

B

総合評価  
目的や成果が達成できているか、いないか、評価している

総合評価  
A: 目標以上の成果  
B: 計画どおりの成果  
C: 制度改正により見直し  
D: 目標を下回った

4つの視点  
サービスの負担と担い手  
適切な目標設定  
効果的・効率的な視点  
目的の達成度  
で評価している

**今後の取り組み・改革の方針**

高齢者一人ひとりの希望に沿った形で社会参加を実現するため、能力開発や体験講座の開催、地域活動に関する情報提供、交流の場の整備や支援策について、検討していく必要があります。  
 就業支援については、これまで蓄積した支援のノウハウや地域企業等とのパイプを活かして、高齢者、障害者、若年非就業者への総合的な就労支援を展開する「(仮称)新宿仕事センターによる就労支援」の中で推進することとし、ハローワークとの連携や役割分担のもとで地域にねざしたきめ細かな就労支援を展開します。  
 なお、この項目は総合計画の基本施策「 - 2 - 高齢者の社会参加、自己実現の機会の提供」等に引き継いで取り組んでいきます。

今後の取り組み・改革の方針  
課題に対する今後の方向性

総合評価  
A: 目標以上の成果  
B: 計画どおりの成果  
C: 制度改正により見直し  
D: 目標を下回った

**重点項目を構成する計画事業**

総合評価	頁
B	30
B	10
B	32

総合評価 頁

事業評価編のページ